

製図試験.com オリジナル基本課題「保育所部門のあるコミュニティセンター」 令和版

I. 設計条件

この課題は、ある地方都市において子育て世代を支援するための保育所部門を併設するコミュニティセンターを計画するものである。敷地は公園の一角を予定しており、公園の景観や空間を活かした施設計画とすること、また、誰にでも使いやすいうниверサルデザインを採用することが求められている。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。公園内管理道路については、当該施設関係車両も通行できるものとする。
- 敷地は平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、第二種住居地域及び防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は80%（特定行政庁が指定した角地における加算を含む）、容積率の限度は300%である。
- 地質調査で支持地盤は平均 GL-6m、地下水位は平均 GL-3mとなっている。
- 日影及び積雪についての特別な配慮はしなくてよい。

2. 建築物

- 構造、階数等
地上3階建ての建物とし、構造形式は自由とする。
- 床面積の合計
床面積の合計は、2,700m²以上、3,100m²以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段は、床面積に算入しないものとする。なお、ピロティ等を屋内的用途に供するもの（駐車場、設備スペース等）については、床面積に算入しないものとする。
エレベーターシャフトは容積率には算入しないものとする。

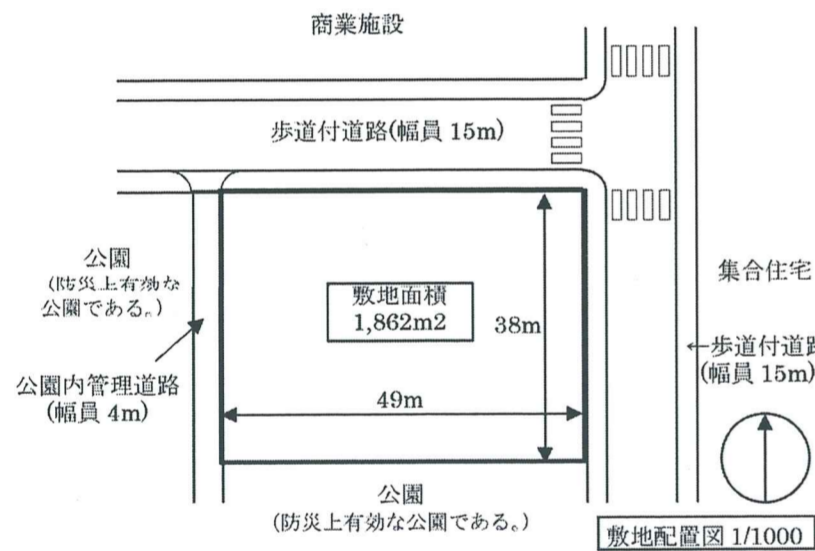
(3) 要求室

下表の室は、すべて計画する。

部門	保育所部門	共用部門/他	コミュニティ部門	コミ	ユニ	ティ
部門	室名	特記事項	特記事項	室名	特記事項	特記事項
保育所部門	乳児・ほふく室	・もく浴室、調乳室を含む。		トレーニング室	・天井高さ6m以上の無柱空間とする。 ・専用屋上デッキスペースに面する。	約250m ²
	2-3歳児室	・室内から使える手洗い、便所等を設ける。		ロッカー室	・男女別に設ける。シャワー設備も設ける。	各約50m ²
	4-5歳児室	・室内から使える手洗い、便所等を設ける。		調理実習室	・準備室を設ける。 ・調理台(1m×3m)4台を設ける。	適宜
	プレイルーム	・デッキスペースと一体的に利用できるよう工夫する		講師控室	・トレーニング室近傍に設ける。	
	調理室	・外部から出入口を設ける。		ワークルーム	・ヨガや体操まで利用できる多目的な室とする。 ・A/B合計で約150m ² とする。	計約150m ²
	職員室	・玄関に面して受付カウンターを設けると共に、屋外遊戯場に面するように配慮する。		集会室	・1室で90名程度が集会に利用できるものとする。 ・2室分割しても利用できるよう可動間仕切りを設ける。	適宜
玄関	・保育所専用とし、エントランスホールからアクセスするものとする。 ・ゲタ箱・ベビーカー置き場を設ける。		ラウンジ	・集会室のホワイエとしても利用できるようにする。	適宜	
共用部門	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・3層吹抜けとする。		会議室	・様々な大きさの室を用意し、合計で約140m ² となるようA/B/Cの3室設ける。	計約140m ²
	カフェ	・テーブル、椅子、カウンターを設ける。 ・室形状の長手方向でイベント広場に面する。		設備スペース	・その他、各自が採用した設備計画に応じて、室外機置場等を計画する。	適宜
他	事務管理室	・エントランスホールに面して案内カウンターを設ける。 ・6人程度の事務スペース及び応接コーナーを設ける。		上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。		

3. その他の施設等

- 駐車場は平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、一般用として1台分、管理・サービス用として3台分を設ける。その他は公園内にある駐車場を利用する。
- 保育所の施設として、直径5mの円を内包する屋外遊戯場(180m²以上とし、庇下部、屋外テラス、足洗い場、手洗い場、ゲタ箱、植栽等を含む)を設ける。加えて、公園に直接出入り出来る扉を設ける。また、遊具を3点以上計画する。
- 駐輪場は、平面駐輪とし、10台分以上(2.0m×0.5m)を設ける。
- トレーニング室から、気軽に休憩できる屋上デッキスペース(面積適宜)を設ける。
- 地域の催し物が開けるようなイベント広場(面積約200m²庇上部含まず)を設ける。
- プレイルームから直接出入りできるデッキスペース(面積適宜)を設ける。
- (1)~(6)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。



ここに断面図が挿入されたりします。(R02)

4. 留意事項

- 建築計画、構造計画及び設備計画については、次の点に留意して計画する。
- 建築物はバリアフリー、セキュリティ、省エネルギー、景観に配慮する。
 - 利用者の当該敷地へのアプローチは、利用者の利便性に配慮する。また各部門は利用形態に応じて適切に計画する。
 - 敷地条件(方位等)や周辺環境に配慮するとともに、空調負荷の抑制や自然光の利用、日射遮蔽及び通風等を用いて、建築環境負荷低減に配慮する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに経済性にも配慮する。
 - 構造種別、架構形式、スパン割及び基礎構造について適切に計画すると共に、適切な断面寸法の部材を配置する。天井高さの高い室については、天井落下対策に配慮する。
 - 設備機器の搬出入及び更新に配慮した計画とする。給水設備については、断水時を想定し、受水槽を設ける。
 - 建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分には、所定の防火設備を適切に計画する。また、防火区画(面積区画・堅穴区画)が必要な部分には、所定の防火設備を用いて適切に区画する。なお、本建築物は、「避難上の安全の検証」を行わないものとする。
 - 地上に通ずる2以上の直通階段を適切に計画する。また、必要に応じて、「敷地内の避難上必要な通路」を適切に計画する。

II. 要求図書

答案用紙 I の定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙 I に記入)

下表より、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。なお各図面には、必要に応じて計画し留意した事項について、簡潔な文章や

図面及び縮尺	特記事項
(1)1階平面図 兼配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図、2階平面図及び3階平面図に、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ.室名等 ハ.設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ニ.設備計画に応じた設備スペース ホ.断面図の切断位置 ヘ.要求室の床面積、特記事項の室、スペース、什器等 ト.建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置及び防火設備、防火区画に用いる防火設備 ② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の出入口(▲で表示)、通用口等(△で表示) ロ.駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ハ.敷地内の避難上必要な通路(ある場合のみ)の経路と幅 ニ.通路、植栽等 ③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ ④ 3階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ
(2)2階平面図 1/200	
(3)3階平面図 1/200	
(3)断面図 1/200	① 切断位置は、トレーニング室を含み建築物全体の構成がわかる位置とする。なお水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 塔屋を除く建築物の最高の高さ、階高、天井高、1階床高、基礎底盤及び主要な室名を記入する。 ③ 梁、壁、基礎、スラブの断面を図示する。 ④ 延焼の恐れのある部分及び、防火区画の防火設備、特定防火設備、道路斜線があれば図示する。

矢印等により補足して明示する。

2. 面積表(答案用紙 I に記入)

- 地上1~3階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。また建ぺい率、容積率及びその計算式についても記入する。

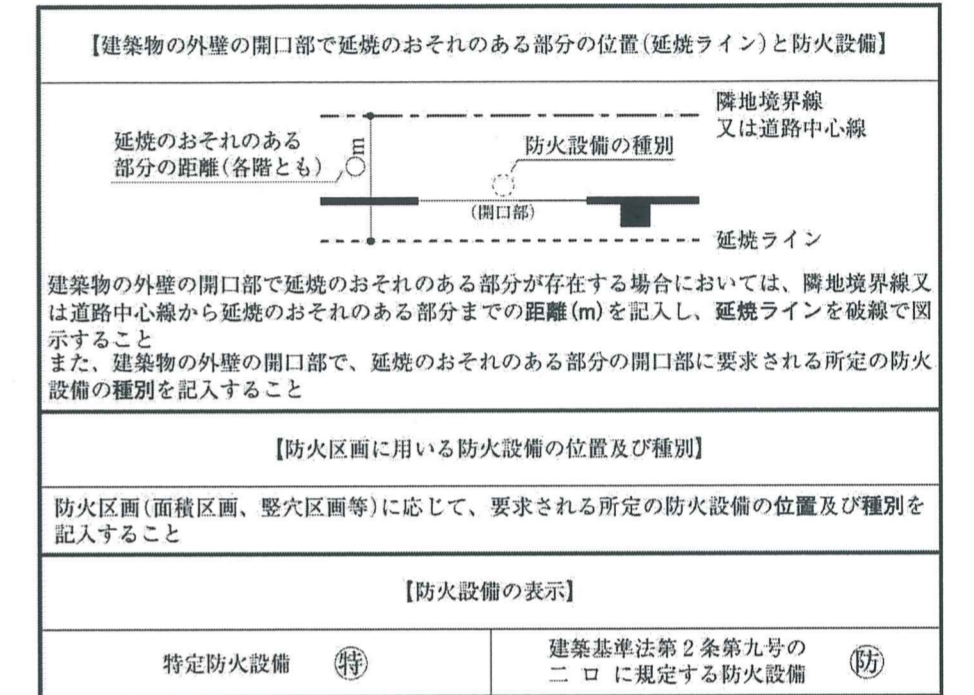
3. 計画の要点等

- 建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
- ① 建築物へのアプローチについて、その位置とした理由及び動線計画において考慮したこと
 - ② 誰にでも使いやすいユニバーサルデザインとしてバリアフリー法誘導基準以外に考慮したこと(3点以上)

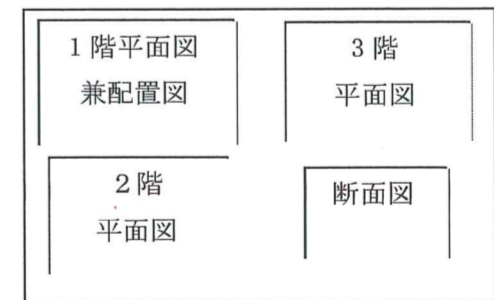
- ③ 建築物のセキュリティについて工夫した点
- ④ 建築物の動線計画上考慮したこと、ゾーニング上考慮したこと
- ⑤ 公園の景観や空間を活かした施設計画とする上で考慮したこと
- ① 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
- ② トレーニング室の構造について留意した点
- ③ 選定した基礎とその理由
- ① 空調方式及び採用した熱源とその理由
- ② もく浴室の給湯設備について、採用した方式とその理由
- ① 建築環境負荷低減について、建築計画において採用したこと(3点以上)
- ② 建築環境負荷低減について、設備計画において採用したこと(3点以上)

防火設備等の凡例

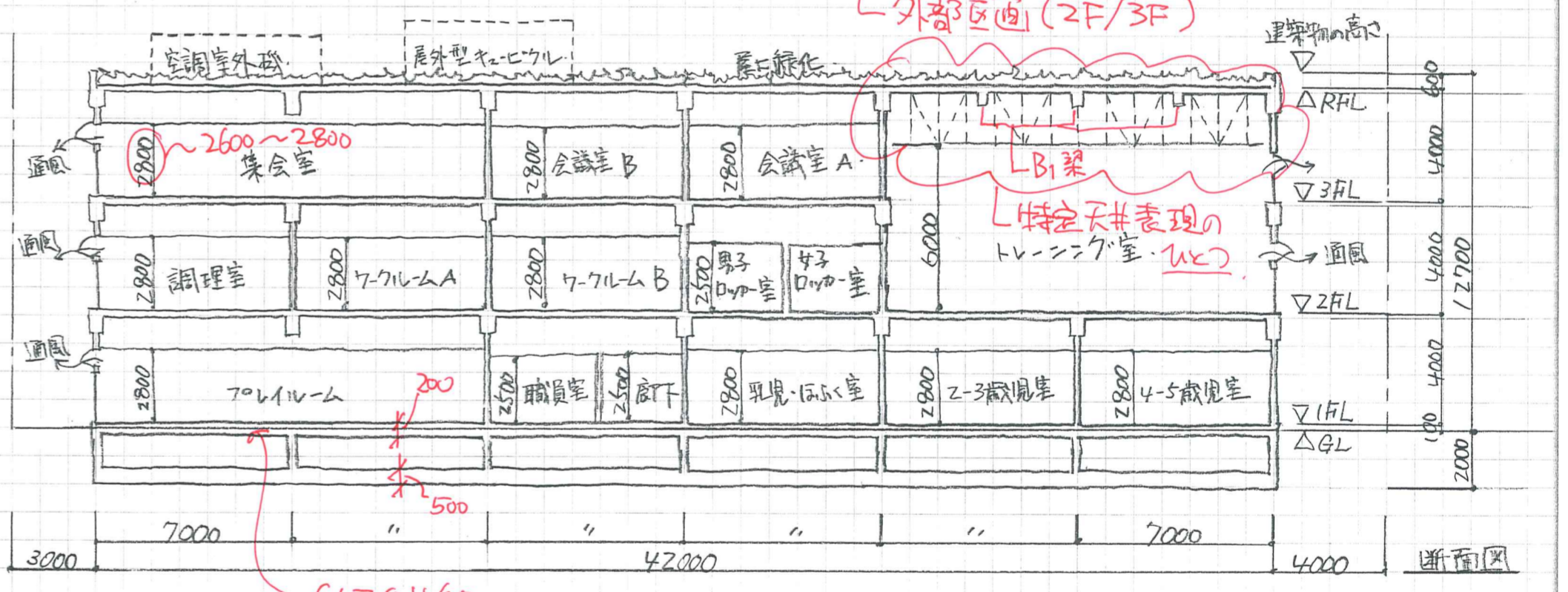
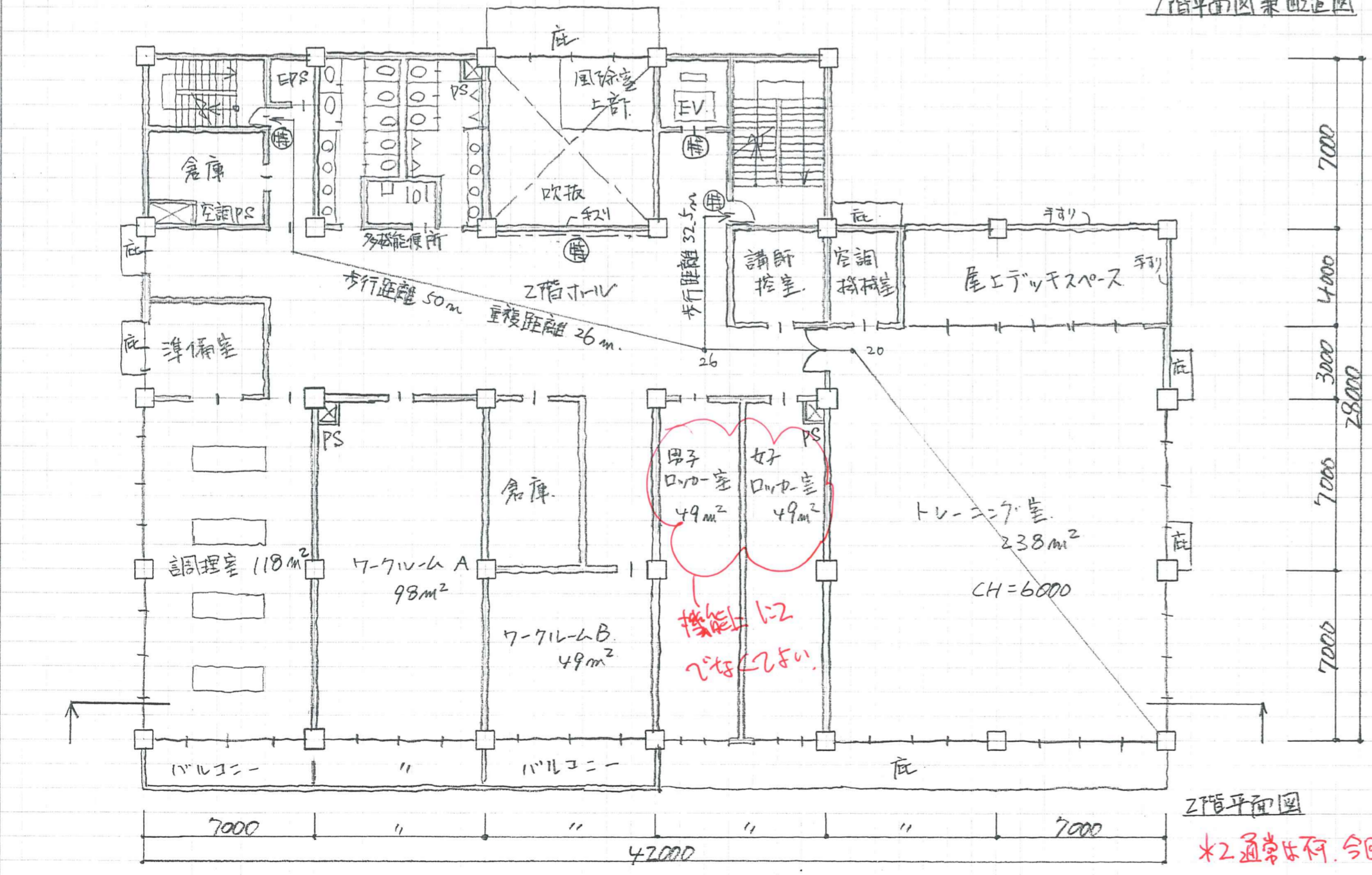
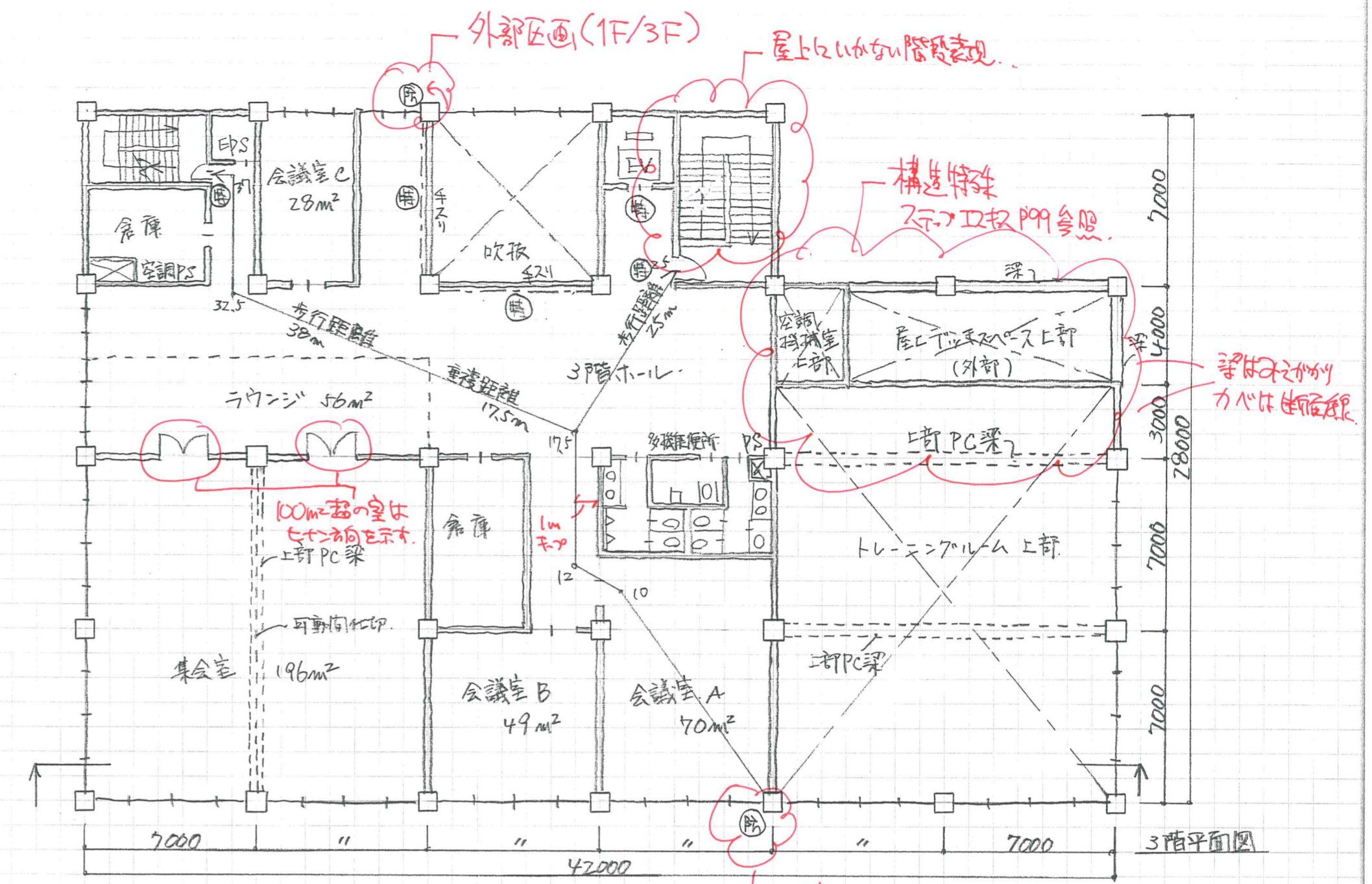
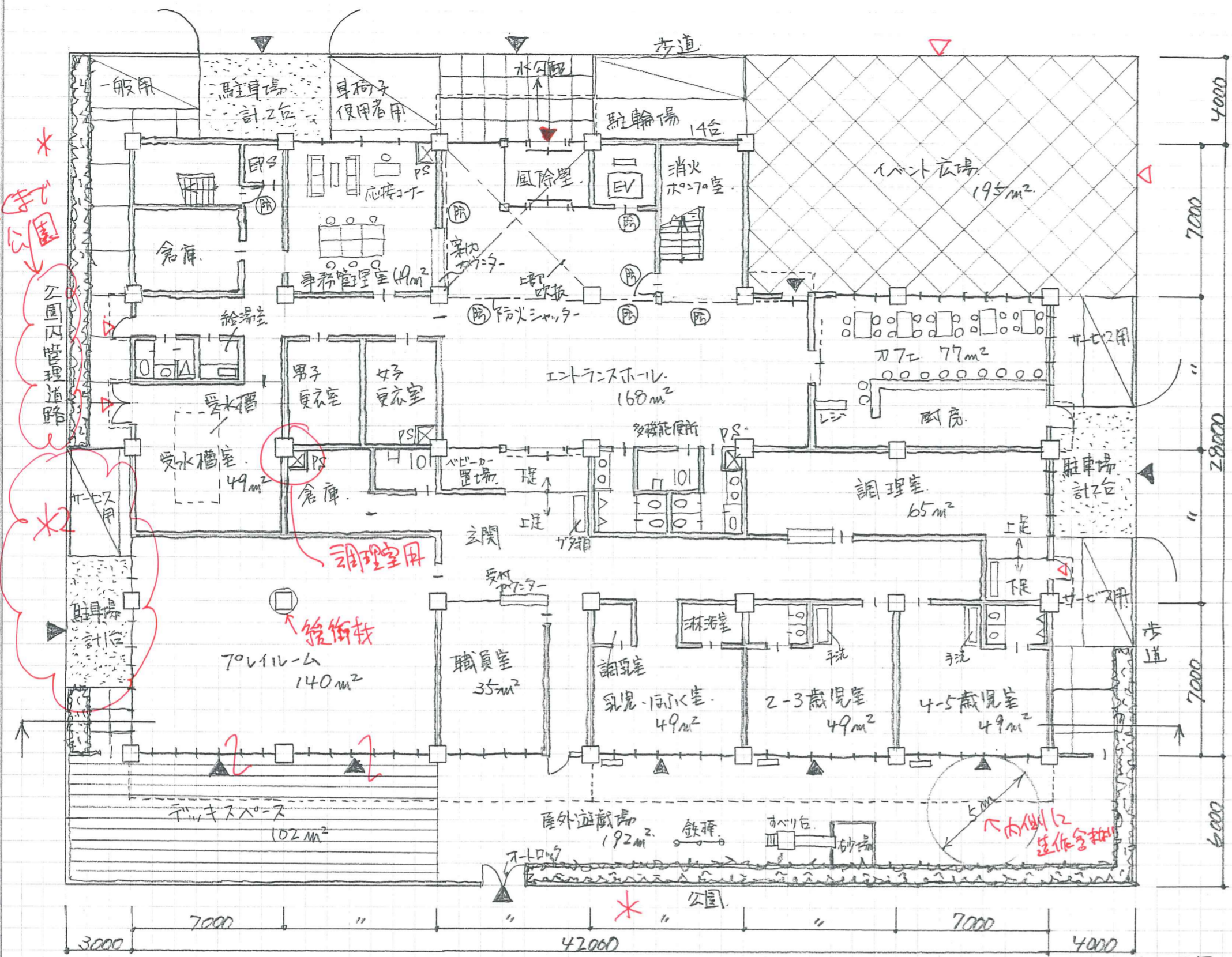
(◎、⓪等の表示は、必要な箇所(外壁の開口部、断面図も含む)に全て記入すること)



図面レイアウト(製図試験.com 課題指示: 本試験では解答用紙 I に記載)



■添削について
この課題での添削を受けたい方は、郵便小為替で4,000円同封して〒554-0012 大阪市此花区西九条2-7-8-3F 製図試験.com 事務局にお送りください。(PDF不可)
送付前に図面は必ずコピーを取ったのち、その原本を4つ折りして角2号封筒を使用してください。速達、書留、宅急便にする必要はありません。



床面積

1F.	$28 \times 28 + 14 \times 21$	1078 m ²	建ぺい率 60.53% $\frac{28 \times 28 + 14 \times 21 + 42 \times 1 + 7 \times 1}{49 \times 38}$
2F.	$28 \times 28 + 14 \times 21 - 7 \times 7 - 11 \times 4$	985 m ²	
3F.	$28 \times 28 - 7 \times 7$	735 m ²	
床面積の合計		2798 m ²	容積率 148.82% $\frac{2798 - 3 \times 3 - 3 \times 3 - 3 \times 3}{49 \times 38}$

*延焼ゾーンは公園緩和例
 (特) 特定防火設備 → 面積区画
 (防) 防火設備 → 12区, 外部区画, 延焼ゾーン内

製図試験 com 営業用紙
 ver.2021.7 (特) 表記対応

2 追加
 1 基本課
 3

注釈版

shu.byane